

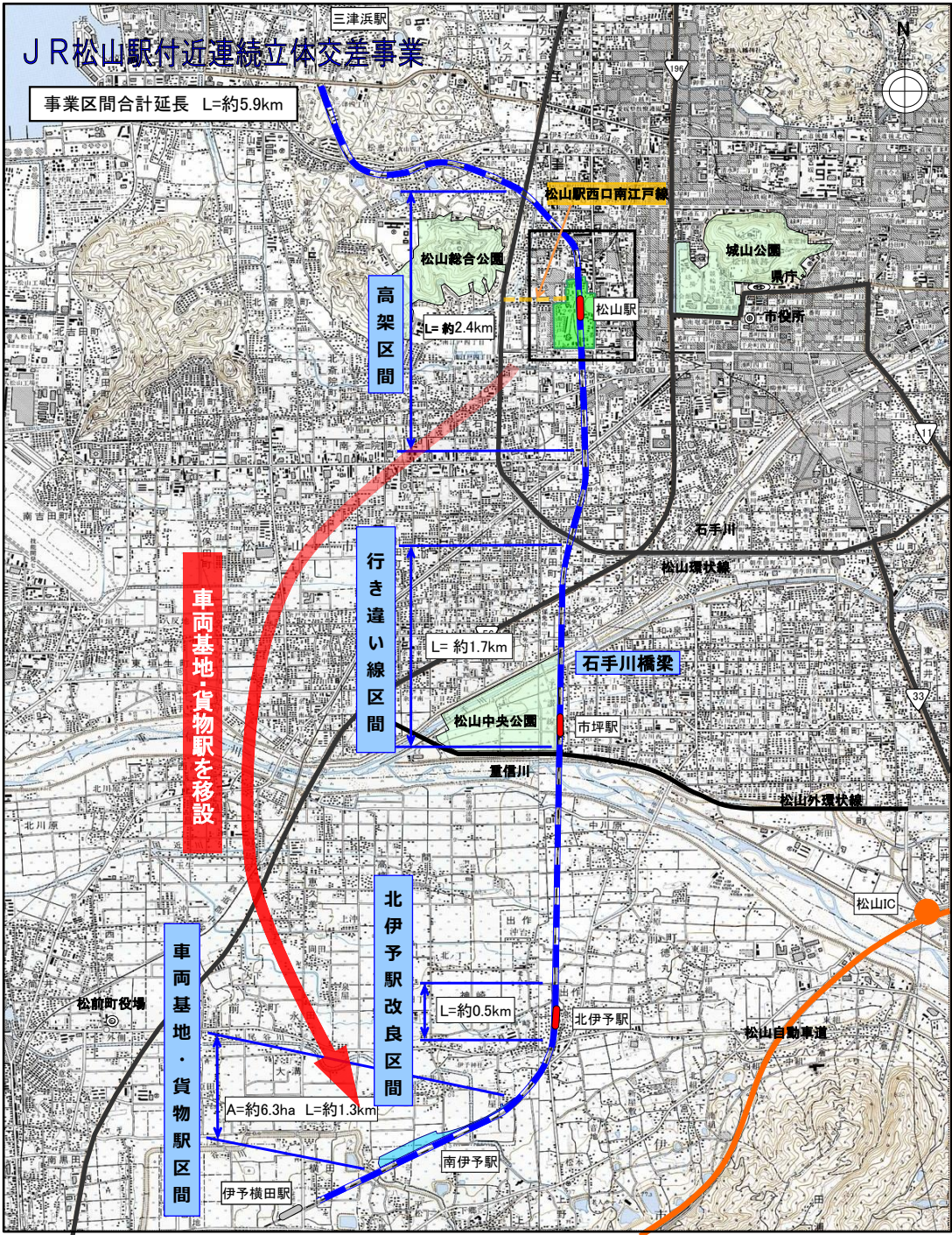
JR松山駅付近連続立体交差事業について

(現地視察用資料)



愛媛県

事業箇所全体図



高架区間



車両基地・貨物駅区間



行き違い線区間



北伊予駅改良区間

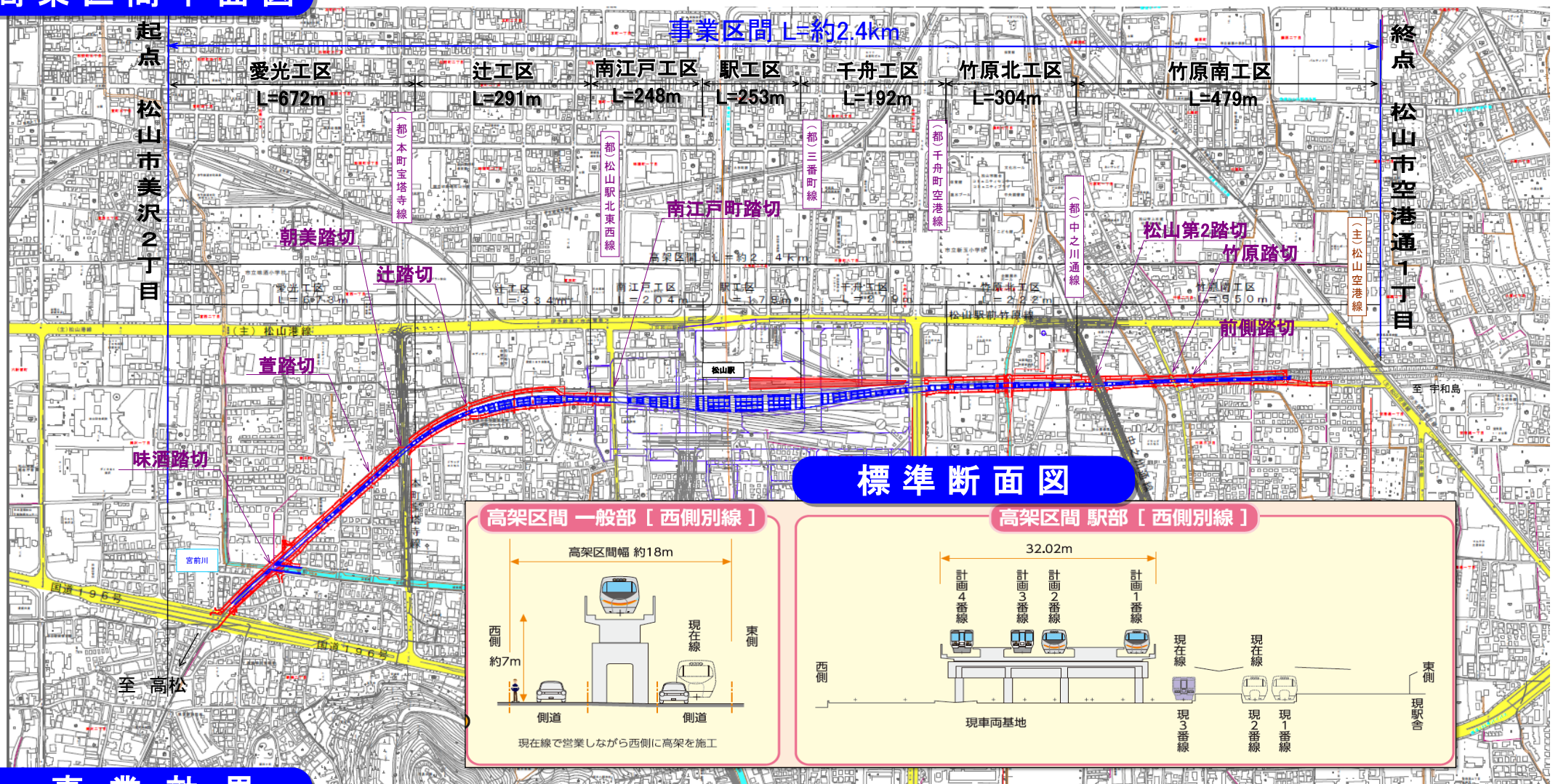


新車両基地・貨物駅等合同完成式

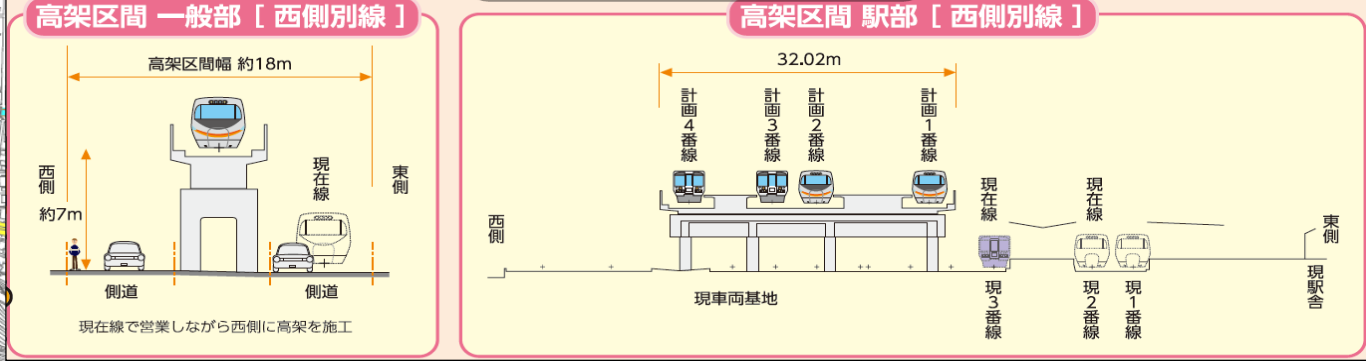


- J R 松山駅付近連続立体交差事業は、平成22年度から順次 4 区間で事業展開し、令和元年度には高架切り替えに先駆け、
- 車両基地・貨物駅区間
 - 北伊予駅改良区間
 - 行き違い線区間
- が完成し、令和2年3月14日に、新車両基地・貨物駅が開業しました。
- 残る高架区間は、令和6年秋の高架切替えを目指し、鋭意整備を進めています。

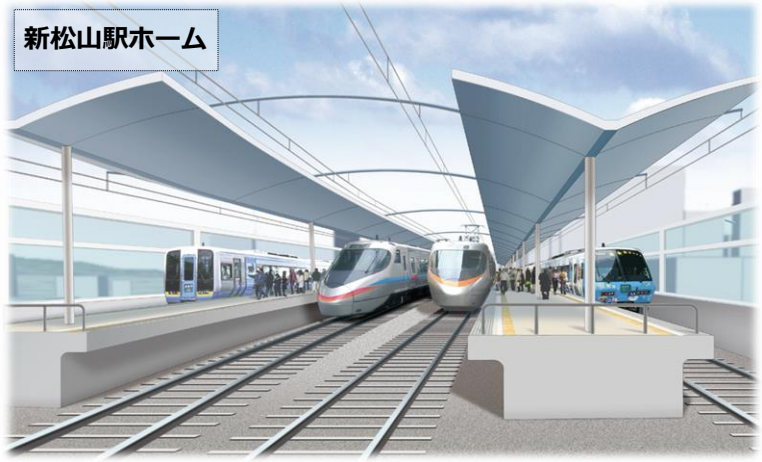
高架区間平面図



標準断面図



完成イメージ

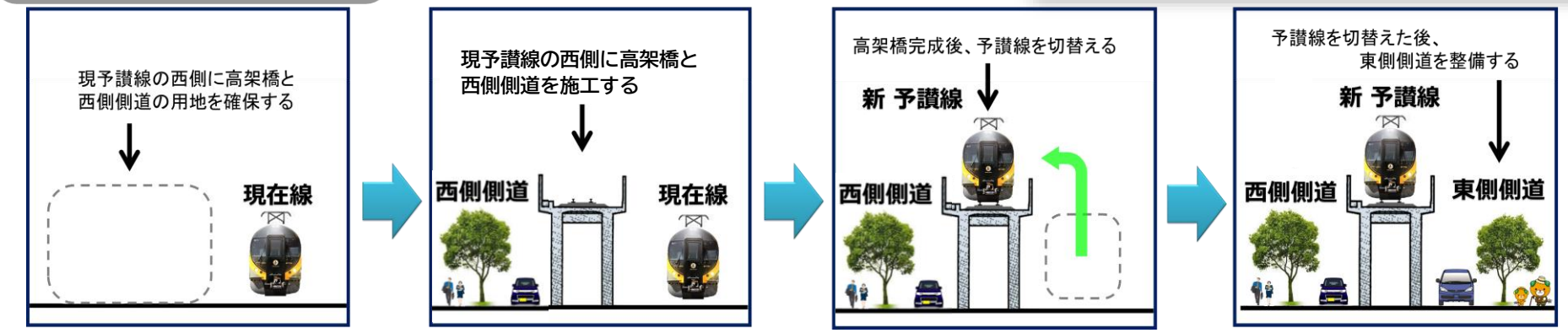


事業効果

- 1 渋滞・事故の解消**
鉄道高架に伴う、8箇所の踏切除却により、交通渋滞、踏切事故の危険性が解消され、幹線街路の整備により、交通の円滑化が図られます。
- 2 地域分断解消・駅西地区の活性化**
鉄道の高架化と西側駅前広場の新設による駅西側から松山駅への直接アクセス、駅前広場の一体利用、路面電車の延伸及び停留所の移設による松山駅での乗換えなどが便利になり、幹線街路整備とあわせて交通結節点としての利便性・快適性が格段に向上します。
- 3 安全・快適な施設利用**
駅舎を新設し、バリアフリー化することにより、安全で快適な施設利用と、駅機能が強化されます。
- 4 県都の陸の玄関の刷新**
車両基地・貨物駅の移転と併せて土地区画整理事業を実施することにより、駅周辺が隣接する地区の土地の高度利用と、県都にふさわしい魅力ある陸の玄関が形成されます。

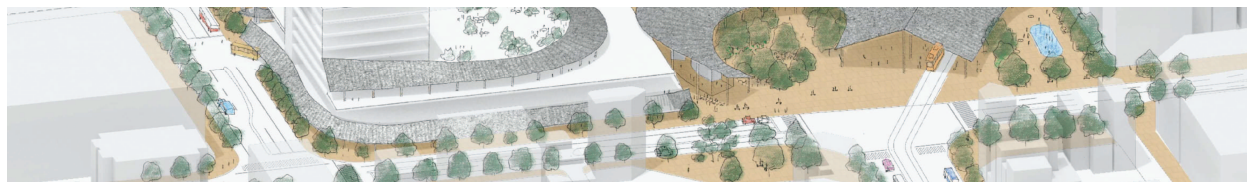


工事の手順





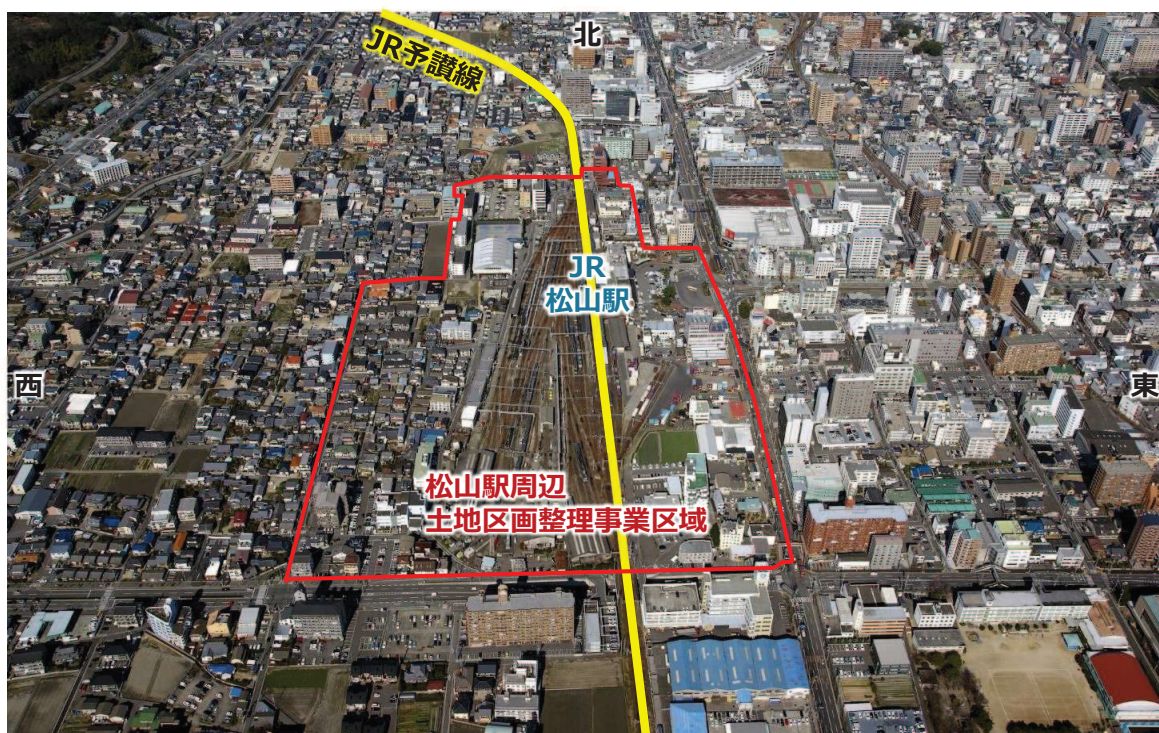
松山駅周辺整備事業について



松山市 都市整備部 交通拠点整備課

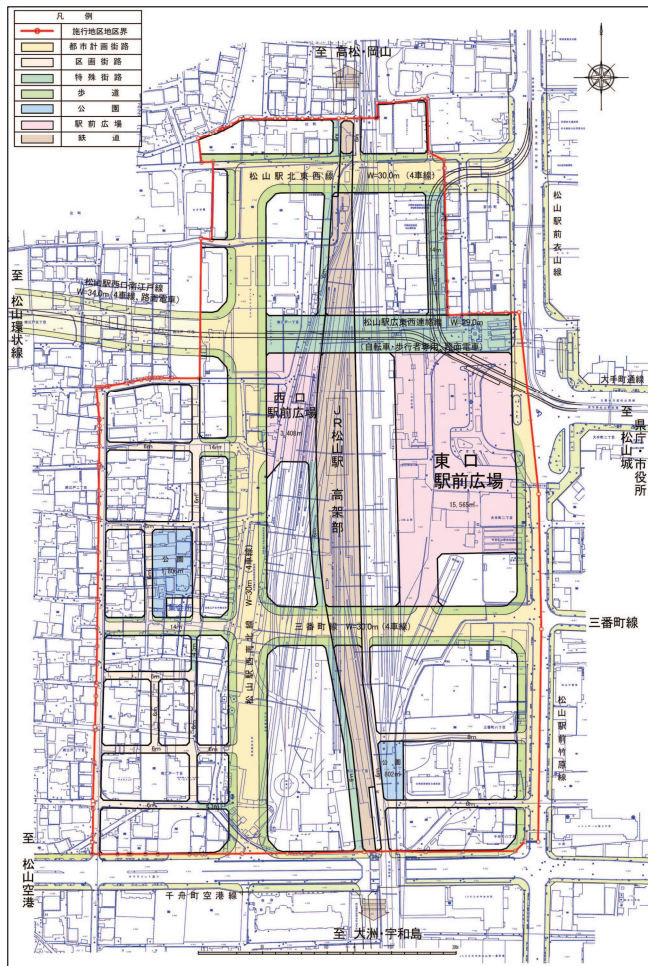
1

事業区域



2

松山駅周辺土地区画整理事業－概要－

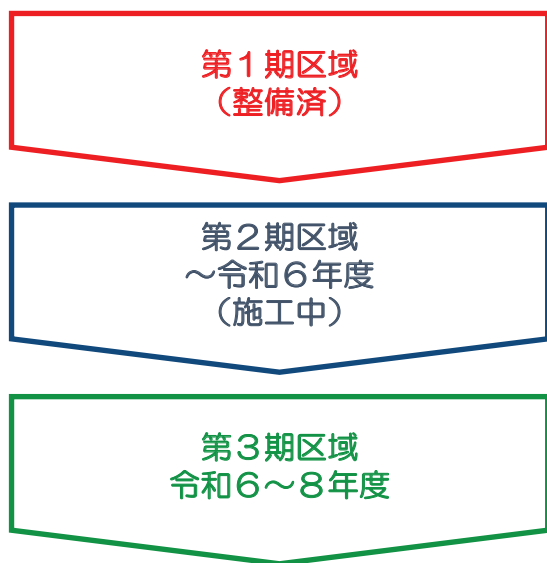


施行面積	約16.7ha
概算事業費	289億円
事業計画決定	平成20年6月10日 令和2年11月2日 (第4回変更)
施行期間	平成20年度～令和8年度 (清算期間は含まず)
平均減歩率	18.4% (先行買収後)
建物棟数	275棟
権利者数	167人
土地筆数	385筆
世帯数	340世帯

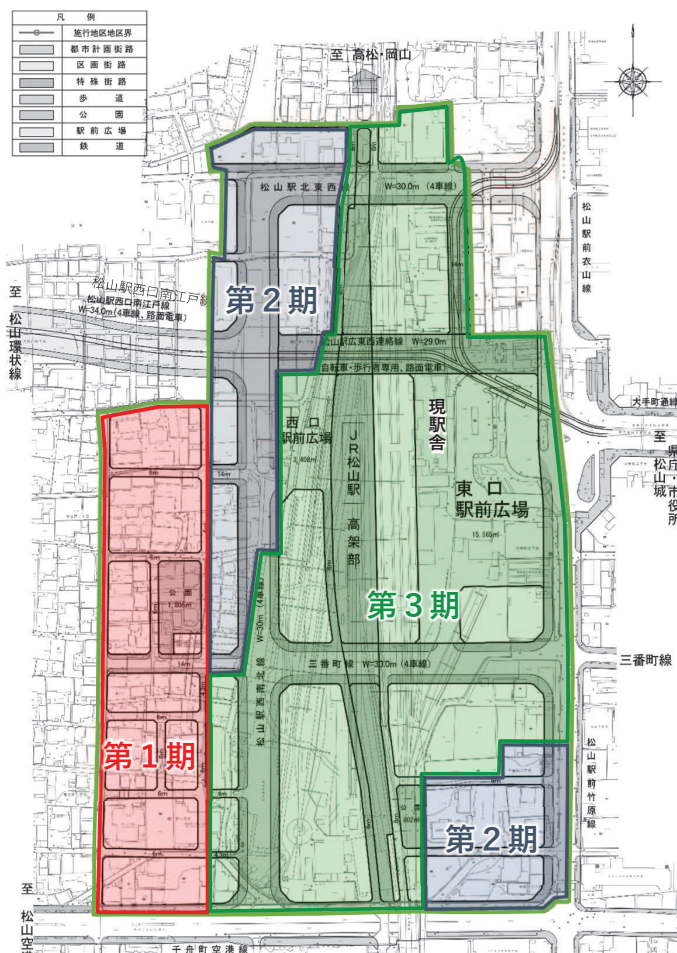
3

松山駅周辺土地区画整理事業－工事の進め方－

【工事の進め方】



※施工予定年度は、予算の執行状況、関連事業の進捗などにより変更する場合があります。



4

土地利用の経過 (第1期区域)

P16

(平成27年5月)



(平成28年5月)



(平成29年5月)



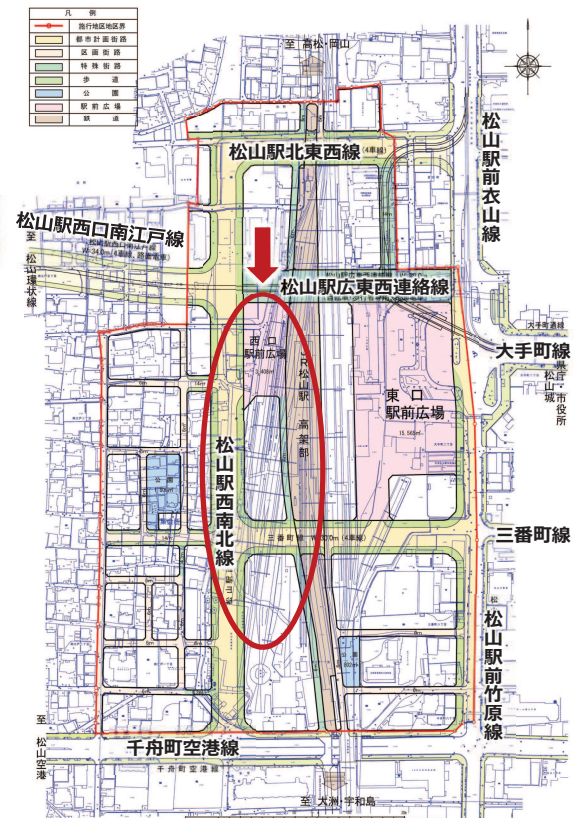
(令和2年7月)



工事の状況



R6.2. 7撮影



交通結節点機能強化と松山駅周辺のまちづくり

松山市のまちづくりの取組み

- 松山市都市計画マスタープラン 松山市中心市街地活性化基本計画、松山市中心地区市街地総合再生計画 松山市総合交通戦略、松山市地域公共交通網形成計画などとの整合を図る。
- 地域と共に策定した「松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドライン」をもとに、松山駅周辺や大手町通りの景観形成重点地区を設定した。
- 今後、エリアマネジメントを展開し、区画整理で生み出される新たなオープンスペースを生かした賑わいの創出や周辺への波及を目指す。

松山駅周辺拠点地区 まちづくりガイドライン (H29.7)

- 併句に代表される「ことばのちから」によるまちづくりなど、松山の歴史・文化の情報発信の取り組み
- 歩行空間の確保やセットバックなど安心・快適な地域づくりの推進の取り組み
- 滞留空間のデザインや演出を行うなど、回遊性を高める仕掛けづくり
- 居住環境の形成や管理を実現していくための地域住民による様々な自主的取り組みを行うエリアマネジメントの推進



■ まつやま情報文化交流拠点

- 文化活動や交流の場となる「ホール」や、緑あふれる憩いの「広場」などの交流スペースで、「文化創造」「活動支援」「賑わい交流」「交通アクセス」「防災」などの各機能を連結

松山駅周辺デザインコンセプト (駅西口)

- 基本方針
・旧村・郊外に向けた、抜けのある大らかな構え
- ・郊外の地域資源・素材の利活用による個性化
- ・生活の駅としての、安全で人中心の歩行空間の実現



駅舎西口イメージ

■ 松山駅交通拠点機能強化

- 交通モード間の接続 (モーダルコネクト) の強化
- 駅周辺地区の交通円滑化
- 移動利便性・回遊性の向上
- 防災機能の導入
- 官民連携

■ 官民連携によるまちなかリノベーション

- 沿道建物 (民間事業者) 「まちづくり」
・公共空間と一体となった低層階のオープン化
- 大手町駅 (伊予鉄道) 「交通機能強化」
・バリアフリーで快適な「まちなかハブ」へ改変
- 道路 (行政) 「空間利活用」
・ほこみち制度等による誰もが歩きたくなる空間を創出

活動を通じて、エリアマネジメント組織を設立



出典:
(左) まちなかウォーク推進事業資料
(右) 多様なニーズに応える道路ガイドライン



松山市景観計画

- 松山駅周辺景観形成重点地区 (H30.4)
- 大手町通り景観形成重点地区 (H30.4)

- 建築物における
主な景観形成基準
・形態意匠 (ガラス壁面やオープンテラスの設置等による開放感の演出)
- ・色彩 (落ち着いた色調とし、周辺のまちなみとの調和)
- ・屋根屋上 (周囲と調和する形態・素材・色彩)
- 屋外広告物の基準
・表示面積は必要最小限とする。
- ・屋上広告物や突き出し広告物は設置しないように努める。

松山駅周辺・大手町通り 景観づくりのポイント

緩やかに繋がるスカイライン

心地よい印象

人を呼び込む店構え

広場・歩道 もてなし空間 店内

松山駅周辺デザインコンセプト (駅東口)

- 基本方針
・旧城下町・大手町に向けた、風格のある空間づくり
- ・松山城・堀之内に繋がる緑の軸と、県都らしさを体現する地域素材 (瓦・石・櫓・門など) の活用

松山市駅とのアクセス強化

※ 検討のためのイメージであり、整備内容を決定しているものではありません。